

保険給付の適正化等に向けた平成 30 年度の取組み状況

1 保険給付の適正化のための取組み

「医療保険新任担当職員研修」の実施

実施日 平成 30 年 7 月 12 日

内 容 国保財政の仕組みや保険給付、国保税など国保制度全般に係る研修

参加者 市町村の医療保険新任担当職員 70 名

2 収納率向上のための取組み

「国民健康保険税（料）収納率向上対策研修」の実施

実施日 平成 30 年 11 月 16 日

内 容 先進事例の紹介

徴収実務研修（グループワーク） ほか

参加者 市町村の国保税（料）徴収担当者 27 名

3 国保データベース（※）の活用推進のための取組み

「データ分析を通じた効果的な保健事業推進研修」の実施

実施日 平成 31 年 3 月 1 日（予定）

内 容 市町村の健康課題の抽出データ分析の活用について（基調講演）

国保データベースの概要と活用方法について

参加者 市町村の国保保健事業担当者 約 60 名

（※）国保データベース：各都道府県の国保連では、市町村から提供を受けた健康診断結果や医療、介護などのデータをデータベース化し、それぞれの市町村に、統計情報や個人の健康に関する情報を提供している。